

とあり反抗的気分益々濃厚とあるに及ばしかは住友別子鉱業所は對策に腐心の結果折柄大正十四年二月帝國在御軍人別子工場分會の設立あり住友擁護の成績見るべきものありしを機縁とし各部落に自派擁護團體の設立を促し同月及翌月中に於て左記の如く多數の御用團體の發生を見るに至つた。

創立年月日 名 称 加入字名 団体員数  
 大正十四年二月十一日 在御軍人工場分會 新居浜、四股、肥料部、  
 端出場、東平、月芳部、 一、九、五、四  
 清中在御軍人、

全 二月二十一日 教 育 會 前野村二股 一七五

全 三月十四日 柳 唐 協 賛 會 糸野村、柳谷、唐谷 八〇

全 三月十五日 協 誠 會 中庄村大字大永山字栗木 二五〇

全 〃 公 德 宣 傳 會 糸野村立川山字本松 一九〇

全 三月二十一日 部 落 改 善 會 糸野村立川山字鹿森 二二二

全 〃 新 青 會 糸野村立川山字新田 一四五

全 〃 共 勵 會 糸野村立川山字立川 二二五

其後在御軍人工場分會を除ける外餘の各団体は更に大同団結を試み大正十四年九月十四日新に「改善會」の一大同団体組織せられたるが加入団体は新団体、支部とある

た。

左に柳唐協賛會創立大會に於ける決議文並に新組織の改善會の盟約の全文を掲ぐ。

決 議 書

- 一 労働総同盟の運動は徒に其の言動は抽象的に其の行動は矯激にして部落の平静を破り不安を醸生せしむる吾人の幸福を阻害するものと認む。
- 一 労働総同盟の煽動者が部落内に侵入することを阻止す。
- 一 各部落の同志と聯絡し同胞に奉仕す。
- 一 地理的不利なる新田鹿森兩部落の同志を極力應援して目的の遂行を期す。

組織變更の盟約書

惟小に今や我小民の精神は弛廢し質實剛健の風も失は浮華放縱に流れ輕佻詭激の風を生ず陛下之を憂ひ給ひ蒙り我小民精神作興に關する詔書を賜ひ今にして時弊を革むすんば或は前緒を失墜せむことを恐るるを仰せらるる、吾等小民たるもの陛下の御慈教と祖傳及大和民族の將來に對する可あらんや、願ひては豈恐懼感憤せしめて可あらんや、豈覺醒努力せしめて可あらんや、願ひては我別子銅山に於ては亦昨年以來輕佻詭激の言類りに行はれ背徳不信の風金山に漲り部落に於ては吾等の道徳的生涯を破壊せんとして至り茲に於ては各部落に於ける志操堅固の士相謀りて會を興し一致団結して正道を掲げ詭誣の言説を排し不正の暴力を退け以て自己の道徳的生涯を保護し、たし悪ふに此の種の改善は組織の力により社會的協力の俟つに非ずんば其結果を青らすこと難し故に各部落の會は互に相連絡して相互に匡勵する所ありしを更に進んで會の組織を改め東平、端出場改善會とし各部落の會は